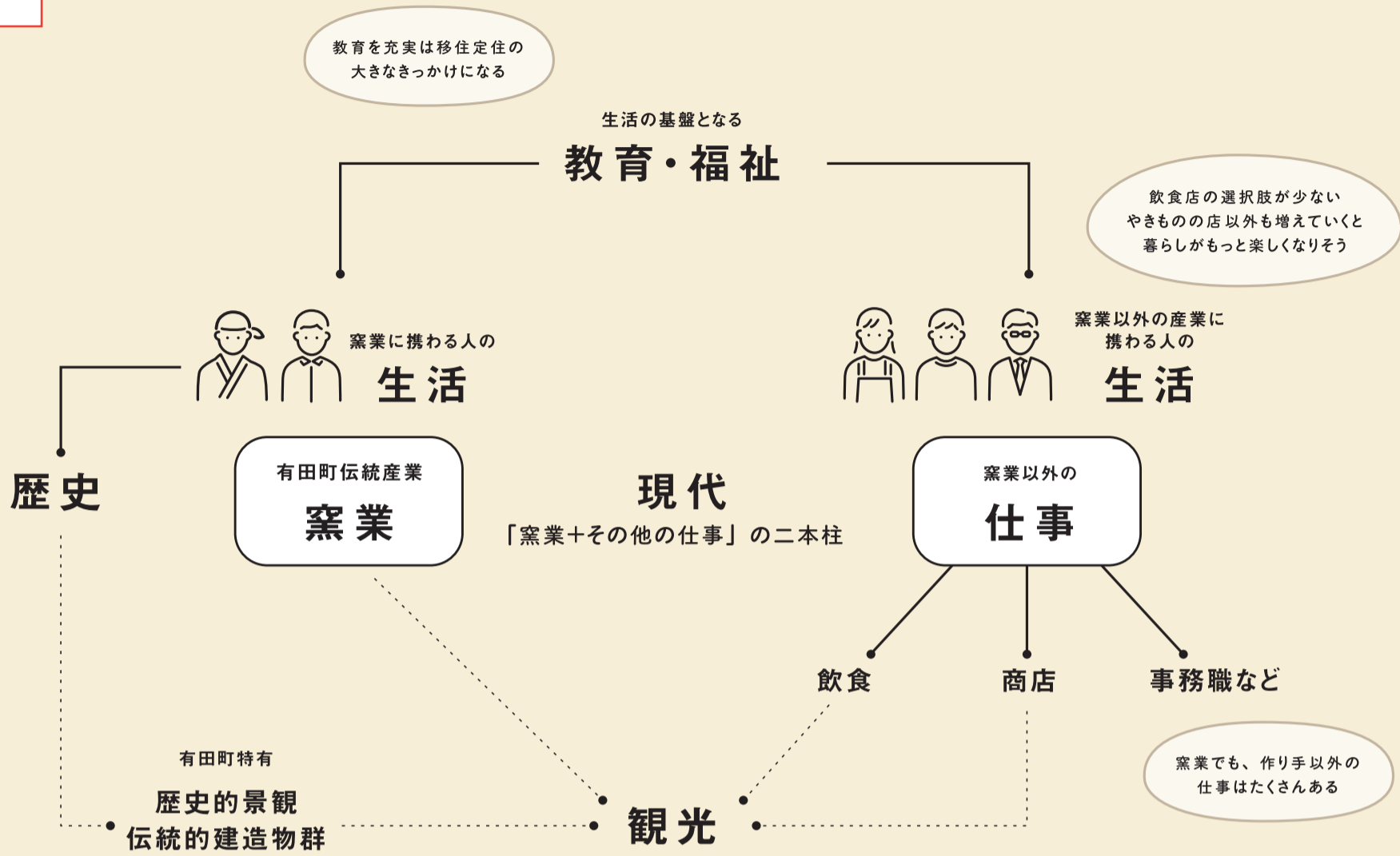


作成中



観光と暮らしの橋渡しとなる
場づくりが必要

日常・継続的
移住・定住

- ・ 窯業や起業家ではない職業の選択肢を増やす
- ・ 内山でできる仕事
- ・ 内山地区、有田町外で働く
- ・ 魅力的な少人数制教育
- ・ 日常の買い物
- ・ 近所に外食できる場所
- ・ ファミリー、単身者、アトリエなど
- ・ 選択肢がある賃貸物件
- ・ コミュニティスペース
- ・ プライバシー確保
- ・ 新築、改修できる基礎整備
- ・ 土砂、洪水災害対策

有田に暮らすことへのハードルを下げる
継続的な関わりが生まれる
体験と交流をうながす場

たとえば...

チャレンジショップの充実

- ・ 職の部分だけではなく、住居も提供（または補助）するようなパッケージにして、町外の人をもっと利用しやすい制度にする。
- ・ 募集期間、年間募集人数を増やす。など

各分野のコンシェルジュによるマッチング

住居、教育、窯業、仕事、などの分野ごとに中立的な立場で相談にのってくれるコンシェルジュがいてくれると、移住や暮らしに対するハードルがぐっと下がるし、暮らしやすくなる。

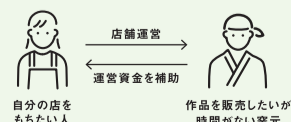
コンシェルジュによるプログラム開発

たて割りで行っているサービスや制度を、生活や観光の視点から横断的にできるような仕組みをとる。

行政の負担を下げる仕組みづくり

補助金に頼りすぎず、行政の負担を減らせる仕組みを用意することで、自立的で継続性の高い取り組みになる。

たとえば、お店をやりたい人と、店を出して作品を売りたいがその時間がない窯元をマッチングして、窯元はお店の運営をまかせ、店舗運営補助金を運営者に支払うことで、行政から支給する補助金を軽減する。



非日常・一度きり
観光

- ・ 歩いていて楽しい
- ・ 常態的に営業しているお店
- ・ 焼きもの以外のお店
- ・ 飲食店
- ・ ものづくりの情報発信
- ・ 職人とクリエイターの交流拠点
- ・ 観光案内
- ・ マルシェなどのイベント
- ・ 宿泊施設